

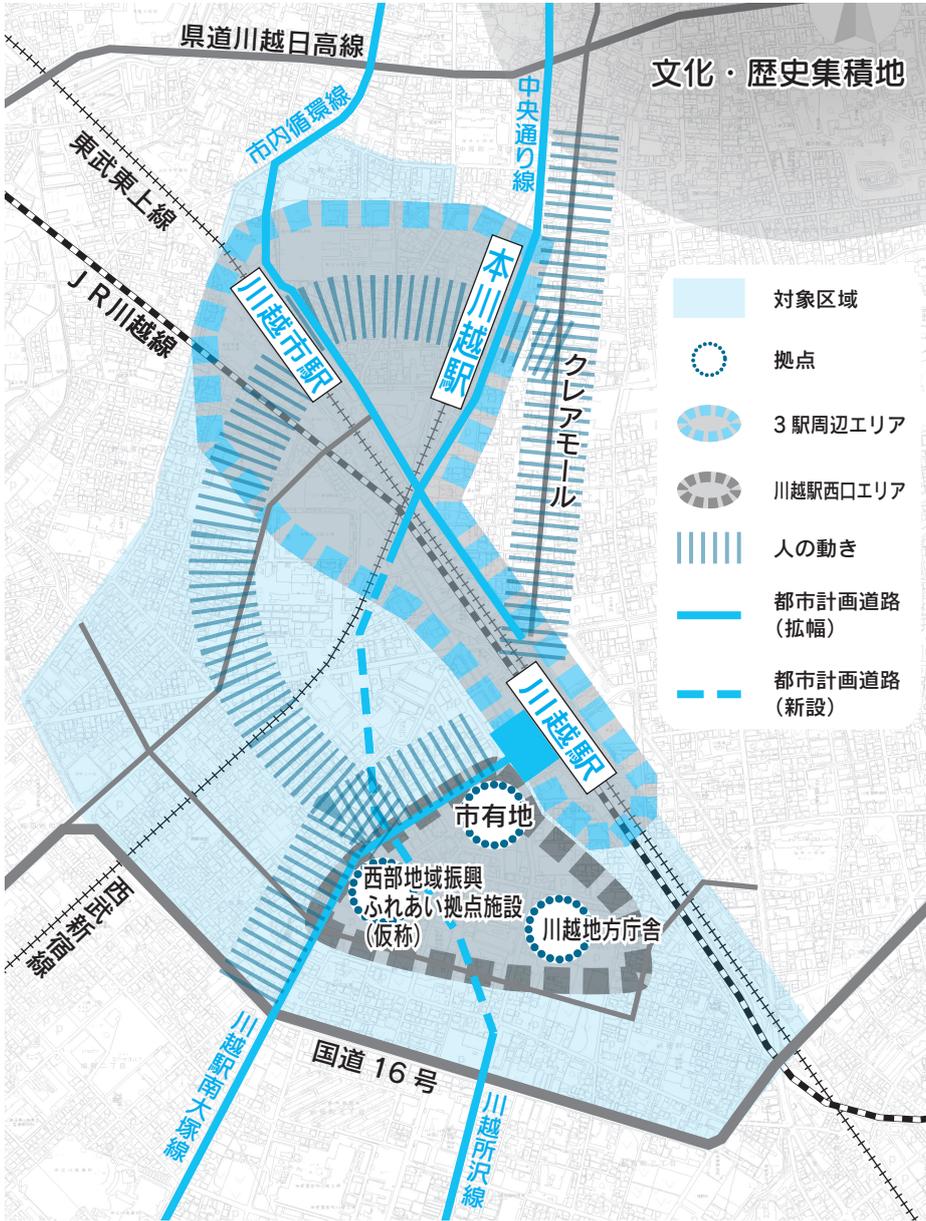
# 川越駅西口周辺地区基本構想

## 現状と課題

商業・業務施設やマンションが集積している川越駅西口周辺地区。今後、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の整備が予定されています。これに伴い、川越地方庁舎移転

後の敷地、自転車駐輪場などに暫定活用している市有地の有効活用が期待されます。多様なニーズに対応しつつ、中核市として継続的な発展を目指すして、効率的なまちづくりの実現が求められています。

市では、既に川越駅西口土地区画整理事業の第一・第二工区を完了させました。今後、中核市として役割の拡大が見込まれる川越。都市計画道路などの基盤整備によって、さらに活力ある市街地の形成が



必要です。

川越駅西口周辺地区は、川越所沢線・中央通り線・市内循環線の整備が遅れています。また、線路によって市街地が分断されていて、スムーズな東西の往来にも支障があります。

## 基本構想(素案)の概要

市では、同地区のまちづくりの方向性を示すため、川越駅西口周辺地区基本構想(素案)を策定しました。主な対象区域は、川越駅西口エリアと三駅(川越駅・本川越駅・川越市駅)周辺エリアです。

川越駅西口エリアでは、西口駅前広場の再整備、川越所沢線整備などを計画しています。三駅周辺エリアでは、中央通り線整備、本川越駅西口の開設・駅前広場整備、本川越駅・川越市駅間の連絡道路整備などを計画しています。

都市基盤整備を進めることで、歩行者や自転車が安心して往来できる空間を造り出します。さらに、今後の土地利用の転換を誘導し、快適で魅力的な市街地の形成を推進します。大規模用地や未利用地が活用されることで、広域業

務・商業機能と行政サービス機能の誘導・促進が期待されます。

## 基本構想(素案)に対する意見を募集

閲覧・募集期間：2月1日(月)～3月2日(火)

対象：市内在住・在勤・在学

または利害関係のある方  
閲覧場所：都市計画課(本庁舎五階)・出張所・連絡所・公民館・図書館

意見の提出方法：住所・氏名・電話番号、在勤・在学の方は勤務先・学校名、利害関係のある方はその内容を明記し、〒350-8601

川越市役所都市計画課(ファクス可)  
\*市ホームページからも閲覧・意見の提出ができます。

## 意見の取り扱い

提出された意見に対する市の考え方、案を修正した場合の内容を公表します。類似の意見は取りまとめ公表し、個別の回答は行いません。また、個人情報公表しません。

問い合わせ：都市計画課

TEL 224-5945

FAX 225-9800

## 経費削減の取り組み

職員課・TEL224-5553

市の財政状況は、景気の後退や扶助費などの義務的経費が増加したことにより、たいへん厳しい状況にあります。限られた財源で市民の皆さんの要望にこたえ、市民サービスを低下させること無く事業を推進していくためには、行財政改革を推進し、より多くの財源を確保する必要があります。

このため、市では平成22年1月から同24年12月までの間、管理職手当の10パーセントを減額します。これにより、年間約二千万円の経費を削減します。また、平成22年4月の実施に向けて、特殊勤務手当などの廃止・見直しにも取り組んでいきます。

今後も市民の皆さんの要望にこたえられるよう、市役所の行政資源を選択と集中によりスリム化するなど、徹底した行財政改革を推進していきます。  
\*管理職手当とは、管理・監督の地位にある副課長級以上の職員に支給される手当です。

\*特殊勤務手当とは、著しく危険・不快・不健康・困難・特殊な勤務に従事する職員に支給される手当です。

## 新町名「南大塚3丁目」「かし野台1丁目」「かし野台2丁目」が誕生します

町名地番整理を実施し、下記のとおり「住所」および「土地・建物の所在地」を変更します。

### 町名地番整理の概要

変更日	旧大字名	新町名	郵便番号
3月8日(月)	南大塚の一部・大塚新田の一部	南大塚3丁目	350-1162
	大袋新田の一部・藤倉の一部	かし野台1丁目	2月中に
	大袋新田の一部・藤倉の一部・大袋の一部	かし野台2丁目	決定されます。



### ●「町名地番変更用の住民票」の申請

市民課から郵送された「住所関係通知」と「身分証明書」を、市民課(本庁舎1階)・出張所・連絡所・本川越駅証明センターへ持参してください。

問い合わせ…住所＝市民課住民記録担当

TEL224-5744

土地・建物の所在地＝都市整備課

TEL224-5964

## 3月6日(土)・7日(日) 自動交付機を休止

市民課住民記録担当・TEL224-5744

町名地番整理の実施に伴い、市役所本庁舎1階ロビー・南連絡所・高階市民センター・名細市民センター・霞ヶ関北出張所・大東南公民館に設置してある自動交付機(印鑑証明・住民票の交付機)は、上記の日程に利用できません。



今年最初の太陽が輝きを増した午前9時30分、179人の参加者が一斉にスタート。白い息を弾ませながら武蔵野の雑木林を駆け抜け、約5.5km先のゴールを目指します。福原地区元旦マラソン大会は、途中2か所の神社でお参りをするのがルール。ゴール近くで「がんばれ」の声援に、疲れを見せ始めたランナーも、最後の力を振り絞ります。4歳から80歳まで、全員がゴールしました。



シリーズ 288

なかぶく [中福]